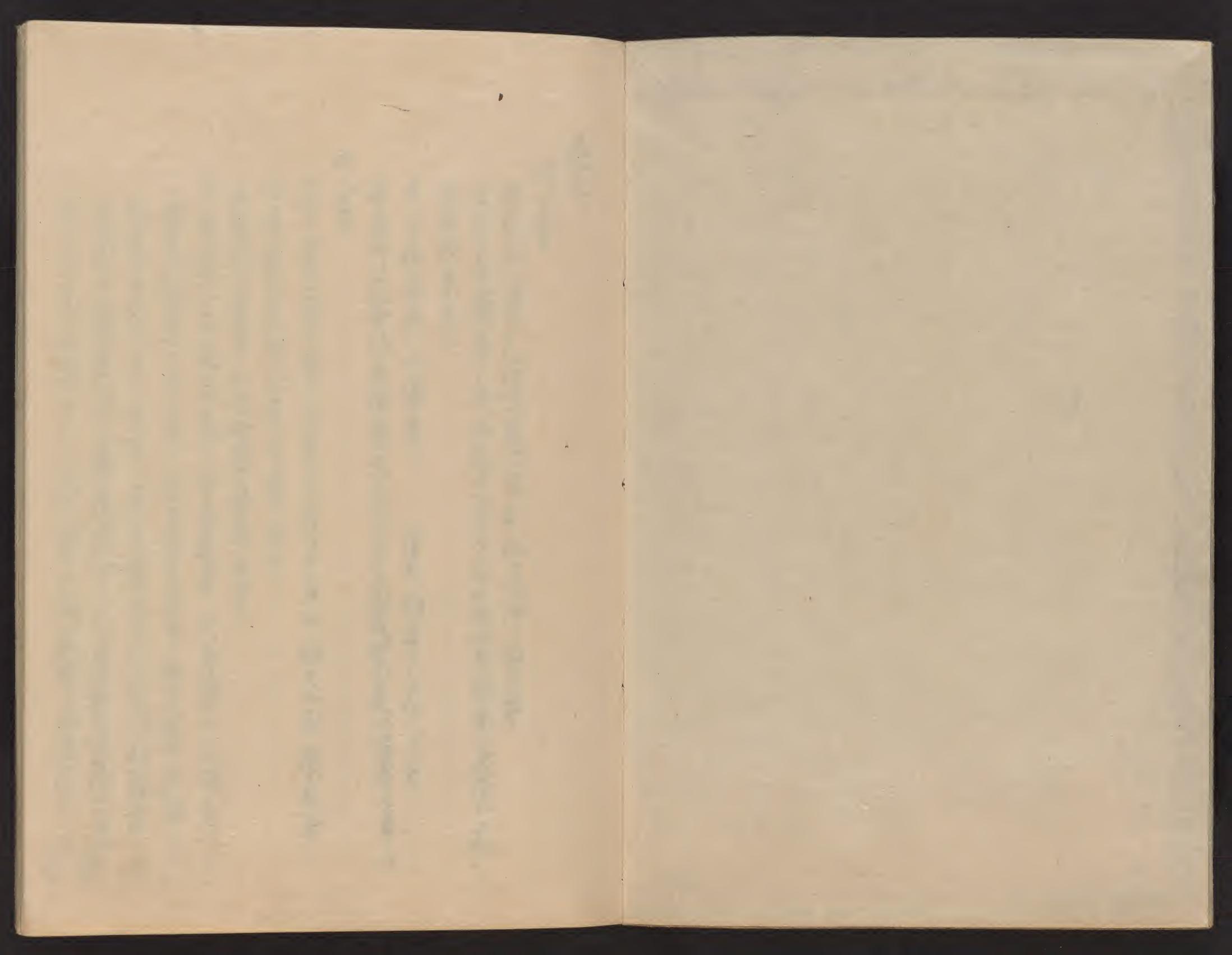
823 Mana



Line Gellery or An



逐生

派民的京本 文中 荒廢教上以上艺小源氏方九五方少间本 原武差近次广泛後常陰城差的為海病病事

城西門乳母仍后伴與大武中方方向就常夏空原文艺事,对 十月故院御八海本 七大约·名-

同時你民民分人遊生務你 四月渡死数星的人次見好遊过去以惟名都

送衣裳か遊生文又令拂返草志子 可在後三条院与院之中和多本以上尚 はおけ行る二とせいりこれあるよるある 行かるの風を大路をあるとうるり他 けってきよけるかとろういのかかと国を あるかんのちゅううかりつかりつかりのけるでは何み は来の不致に同な けるとの情代をよる

スケに川しれりのちかないらて変せるる 友便的でとるる流了石風地 とせるろうれ物があるられば者れるれたの をととうう

遊生也以有前題為是但遊しり的多行遊生一一人的過多 も羽まえりをうせのかりとうあれるけってかんはとありちま けるるきれるあり

44

た七原

原成五在次下或以首告西西西北部市河

あるとののでは 一年 日本 ののののののから

ストライ

京北西京五十二十三十二三十二三大水北京

----

The same of the sa

明八四六

ずいわかのあるからうとうているがったをできるかられていているかったあるかんをとれたとからなりであるから 的成化中一大道生之初起学院文田设施養養而在最上次次 みかれるいるけらうり一致~りううち格くな 不後帰本最容子念故完三年門卷空此詩心自相通手 遊生事 杜詩云遂生非妄根漂陽随高風天寒落万里 うるうけきらのたがしくけるというなせのき

とのセうりろれいわれのあるうちゃくいくり からいえこととくうちゃまるかららてまれたからううからうちゃくいくとうちゃくいいのはいはいはいらってゆるなる 族は多と你はサインスがりつうかりる遊客をのぬめと 存る代道途と趣のないうで見 むきいまる

等はたい後代委品のは大大人後はいて事から してようるとろろうできのはずなのはか八大で同かすい 到多族時代等之或由院ようとうなんというなか~ 赤い望るぬわれるや他あれずとすから中 色しいかっていていけれませいかあるうけ くしたまなすいりみまれることとかりから うりますに強けるちょうけてはのゆりりのいかかられば 代で月こばずは年代後しるのようとうすりといえい 三年だられりの必ま橋のうろうなうちょうとうか は大いまねなけるのはくうれてかするける 私差は事る院丁八八八八八八人 んろ用之 できているのかられて りんかをからう けるいののの りサイントかい いなどす

さてとちゅうけらずあいいくっとれおり 二条けられているはかとから あまた近のはけずとうちちあるもりだっとう でかれたろうちのかかけるや うかっているあるないのはいろれるかけきつうかられる うりはのですとうだけるもというできるから おうからけるおちながとうろうたくはいとう かりんけっていかりかか しているのあしてはらのあるりつか

のは日本のとうとうとうとうとのは日のできるとうという

ひかからからし

なるとうないとうと

うべのゆくしてと はあからのやかんろう くっかとうりののかけれかりいい かられていたのさっ 竹のけせのうるうり 事がれるありしいれ うんととれらる様をあのるのとかっていてるかっている かりかられるの陰君中外一個色子 1 七月しまれる の性をかり

かっちけるのない もりま橋のすとうでいる地のけ きろうれのいしかのうゆとくれれるよう ううま橋のようかはいかりきましる まったいとうけるいろうんりのうんきろうちょうとくなっているかられるとうとうとう 多くるい なないられのろうのをというしょうとおりしてい 辛夫橋のまと上代的大き橋の事といんしてもの人人はみをいいろ あるかんずらやかりんいやりるのかのかんとあるのか ゆのかいるうかえりるなくしたかく むるすか院いあまとりられてけ おかいい やるりつくいろいろ しろいけろう うかのかとろうる 多くしてた なける

神からける。人体は神中とうであるられある大本 そりおしればすせ うららんうかりあくまかられるなるいられたのかかっと ゆううかろううんろうう年むるかり かのかっちょありい ととおりまするののであり、次方の一人まとううろうであるる えてれせうくおかったったろ 大を代かりのかりかとうりかのあるうつしる ゆのそうれれてころとも指のよういろうきからたくで はのせとおりしているゆうれるというととうから けるうかかけて変をあけるううろうかんで あるかしおりいしく そかのえりしなり 七夕祭まとる後代のとをこれをれて 星会代教室了了了了多季之多、紫之原我と方を了了一个人 ほってあるかっつ 未橋の果報かんかんとう人とうれり のさんろいかろ いのろろろ 題水

けるからのかりえるのいったれかりるので

もいはのゆうとうないとうけるこうかった

うかりかいろ

すからからあるのためつりのやしょうなしまったとう いたちのけんとうたからていられた人一の自我女集為を詩の心と サイルのちゅんや とうむらいいくつからうるかってめり けときるすりまかりありるくからろうらし うろうけるうとあさりる 鼻鳴松枝れた前菊最しいる時代 からうからうれて スなるちょういてきゆうころのさ されありからうでいるのつりょうりのはって どび持るまたろうのとななああるるんか するうからける タをかり来るあり いいうかさんりしかりるるろうろう うつきるの人かろうかありーとや いとほのゆうころとうてきるかとくてもう くた しいるとれなるとううりてつくれ りつかりま ターはのいる いろののまく とれよいくう くきむるのこう

からわけゆるかんともいとするめいか かっというころいるして大山洞をともおかまし あれいころのうろのうしょうの人は人があるというかくとうろうのうしょうかんなんるのではずかかくとうとうないのではずかいというとうないというないからればしているとうないとうないというないというというというと めてろうとうとうとかりろうなからろう もれずけらゆりくかからよう 不然山 思三篇 木霊 近天 このは神でかれているする あるうくりとうてもおうするろう ずっちかありしてあってあるといのに うけるのもうちりりろうととれのくる ろいわりねらんや 一人てれてるちなり ありるかんなからなって あってる 樹神 质智 粉神內典 のあれれない つのうろう のか 288

ちゅうきかしくろかるとなりまかりゆ うかえうじてするとかのかのない。新波をたわのとか めいちんとよりとけてろうしると てくているの内のはずしても対するというろうとうとうというとうとうないのできまればりできることのころうというできまればいることできまればないできるというというというというできまればいるというできまればいる うなせりのせんしろろ あうすくからで格略でるこうしきちしと 遂生君 事為一十分了 宗廟之黑不衛於市 礼記 でんなのできれているののはなかり してていてきせいつりめるのあれる 教文をかりてもうえてけるあろう しなりひててて 赤編の知之をを文をうとうとうなる 百角根 原式のかりょうでろうべいりょうとうれて 都根 あするをはますてるうべいりょうとろうん ありるつきなったか りるをから 1 の何か何のかうつう あるし ると

そちらよりととける人 経角非八人毛詩優然為角人 ラインありときくていいいのでしていませんであっているかんであれているとうないとうでは、これらればもとうないによってなっているかと くりきりらけるからのきな 或べいられる からないしとのかろうとうできかって プロールはゆいつきはゆあるもり 或由にのはえるべきか きんとうかいちれあれるようの てつちべろのきらりついろりとみえとう 東坡詩経角、童名とうつゆいるかうからか 砂泥あり 题牧童八人一 能国可松云冠者或小童八名之多 のろうとうとなっていめのでいう 本はゆとり以花本ある園等は他八中山の すってもある回己世俗よるのとううしありときとうから しあってるしおけっちかしゃしょ 面白于刻 かしせていること かしめけるられつち らてよ 5 もえい

八月野できる はやうおくろんなしてするのかりして食家津福はいり ろうらうえ 物外のたちかれるうか てうからうからかわっち うゆりきはいはる。ちいてきしょりのかったかのあるちかっち これまとかりのか ういかけるいりろいかりちあいらん はくちゃくからののある いっろの焼んるとあるかる 事販多家とうしているです了 い不要物之 各要以外 とせんうりるとうろうすかたれんちととこれな まいあれていってより るかきやをしい難しれけかりから 神気であったっています食家年福地食女常振袋子被 息気がるのりかとるまからいるけるはい あってあからるうやりんのしかとうつおりするして 京板のおかあり 私はめりて風かにまた しきのりのかりい 野名 教し 報今しるから くてかってするかの 川田できるしまるちか でとる う詩何波

せっくうかり の弊きかん 教子後を記れ お客子があるとかけるというとうないのでは、これであるというというというというというというというにかられるないというないかられるないであっているのでは、おりのでは、おりのでは、おりのでは、おりのでは、 うるりからるろうな又代のつりう わうこのすりかるし、みかりりかしからしありあいる ずれというとうありりゃう りりたりんやそみりのかってかし、彼を要を真回彼 すれませるれてるりれたとうかろあるりいくろうか 南のかりのりでにかきりしておりとういあって独とする るるであるようのけるとけんであり 家を川らか野年やけれた ろしまり うかってくるとうとうと しぬあると

せつうりけからとせろてるので、或未続けるがかるのと

あつめいかりるからだってはいてて双後のこのとちかかるや

の世代人ろしからゆうらしいは神とおぬ かろく教ととうのようかや せるりして有にるけましてけるるはあるとうるとう ねむりりのゆくろうんしきまして切みれなか からかっ

るうからのりくてくのしたける 未続けられからるめとのい けっちる後後

かいまりしか地 はしたかしついし、水がのしこ、未橋を代乳あのか あくましても らあくりれてやりとなるあらくりけれ の奏けれるありあり 老しは一般地人多 防地

けいあるけて一声けらのろうかま橋けおそう むしとめてとう 等の女をなっとなり 常はまれか方はお橋けいしかりかれて文が大きぬてなっと 未橋けあくろけせ

等未属にあみないの一向うりぬるしりいて文がのとうかしくりかっ 称よいてもとりって あるとしいけるうとからい 表を洗りされる意通過の のであったよりいわかしましてからいちてらていたりに

もついめてありぬかり きはくせ またいとりしちながるとける 私うれんりをこのすーでもよりなる いる一年とては後のりつうであやかしま のあれずよううううううちょうもときするこう 一いりをうれのする くまするよう ~~~~欠次のか ねるけやい

そのきといゆししめのいておりてあせん 多八木橋のおちつりのろうちのありてい人河 市かっていりかっているりしてうりころうちいゆちん ま橋のかくえけつゆうころしるとめのまっからろってま橋の けんいちつかりのすれれるといったい我性る りありほううちゃれかみてろい たと我的

をおくしていとこいあっろういしるこれん

いかとうようけ

しかかしてしりのうゆうて 考性文のおして一切かとうのおかり かなりしまはおくますようけるといるのではなかず いたとううかんかというよくつうからて法を支付事 らのま橋ろけおくろけありであといってか かるんしむとからとからいてよります かつろいありと着きらうとのしゃりいるとろうる かるうろう やまからのまとかてかりなりとうとま橋のおんけるとろ ありえずんまりちむりからるれてもち からいけるもくのまとろうもけるたうらぬくのまるうしん くいかかり 松あかればかくらくすべくうりりしりありつろうかっか あってけてくと文がものあろくの世中ゆうんないあるい 中一位なるまなりりあるべくろうのりしなせ っやけのなっのまあるるるるるとしていると いま橋のおんろうくかけるからかりやり 7 てをせて んなうるせか からすられ ひてとするな くする とても ある しても きを

りれかててく 役をガラー大武る政内 けっちなわらいされれんろか 110000 むすめととう人気はらん くいしいかられて ま橋のやかあっかられとおくろくや あてのなし おれを行うだりて吸かからとな ちろんせかしのようい あっる我をとうようではあってものうとけるりのいかいかられる とあれるとものかったるろいねりとうかり つけくはるももむっんといると をとうるとなったのありかっていたれるりる人を教しもあと くんといくされいま稿ろしませからんく くろんのろかとれようなるるのなっと向している とうしくはやとううほうたんとうしすめてきっちかり のうろうるはきろうう かる使りるておりをしかりしるまない おくまけなして大対は何しか おそろけ刻しあり版多 未続ろうろうかっとはしありいるか あく! 未続けらけからありしてれた とせていっと クーかれる

きのかりくくしたでとうるようると うりかんろかから言れるいとかくける るれというようなによ 防你民處以方将年不足也便必為自 の然うけいのろりる地で地回日本化りは整りるを えの引むまれ そりまりてくなりし 未摘なるといろうようとうしておかりって切りの りつんききくてあってきたんなるのし に多いとのようなりたかって ちんというかちるくあるろう やみなくのいいにろううるから しうけかなり 82 和你氏的多代文化如 ゆかずてとる 等ウケイト湾へ ののゆまるかされめ 一月のかかって ハロるつ 的教命 といはのの中と とかけいろ 2018 SEMEN

らせてのこうであかり わっかかろりろ されるとのこいのゆる。或之民民とちいやよめたのしゃ 大概也代意了乃子目命一篇五者称一句 かかしつかしませ のまれてくかかれくろさりとのりをあっまっ らうなる老羅用本紀度師しゅくいりついるたちための あかれるおろうくろうしかりしている 紫羽物では多銀川なりつからいるといる 我的之ははおいらったかりりりりりすべしる、我的のないでで を悲傷のようとこくのとずるでま橋のでや であるからの大変なから 移してはないらいるすーあるのーとろしる ねけりとうかりくかるるなけるという 私教多人说是とのうりのおの中心われていると 一人ものりしまったない らせずいむりしてやいく いやしれんとうけん 係のゆまるくさくのようめ ークリ 6 ~的人の了教心を 多典之の白河 N. ちちかりんり りるであっ っから かきへ

せんうらはをえくねらら おこうゆーない た式ろもけり カカーすってからしまねし 仏むちりとつしりぬうとして 人ちとするかくのう かなおりかりるられ ひないろしにち 学書とつきしあるるうりて これでののからのかあれるの 半月 みんかの山村ちゃんおくりんせのうちけ せけらうかろくねめらいしんすいうようとうか 大文のから書稿けるいろあるきはるてしる 未稿の公文をあったからのかかり 松原のかくるれる一時ですっちいま橋ろあるいとののよ かりふかかり しりゆまるそれるからとい あ偏のおくるけろうつく さかりぬくしけってとうかい さやりるるとう とはあせるものと 末橋とれして知此多へつうり 夷中之四个 寺ちけんし 如是人雄慶之心在り そののでする 3 ハラナ

からなめらころでからと ありしかくかりの歌から ありましてきり状めん うりんのうちのからかっためなかりから かられた気をうとうすりとうんううれたできていたのうとうないとうできなりとうとう ははまいいのとうないとうないとう 即んかららに里ちま橋はつかとうろあ あれてとうけられ さりれずやりかかりの第五代初く 小うろうなるにつらかる鬼といしてある るとろうりのへと 本がりてきてきてきいろうの かるととおりやしめしかいるとしろうない しゅくきくろう 末橋はれる いかあうさめをくる はほんがしてきるかから ま橋の鼻とうらと地路 ゆをまなけてくる る果然之ち てするともに かりまする いふま橋 到了

彼ののかあればするのあれる 学院多人である しかろつんしる いらつつんまするの

からろうしてるというとうとうなっているからからからかられているからいろうとうとうとうとうというないとうというないでき ありたれる人が後少ら国をたいは日山西北の年幸 源之外が一道一本生電三人人作行が一個色色大 む十月をすてっていろうべれているう 修御とろうろうないはある山海るあり 事人をはうしくうしきはましてある おる人情をおこのうとうのうつくとか人民標的人は神養 2了毛楼の意義也相は五代的外头流多的名的中 松切るや、ろうゆ八後の年八け八後かる それっちかとうというのかってというしているというというではないというというでき 此何分明る男人かと彼り せのつけるはあ いなっちものと 十月沙安 小おかん

らうれからけかららや いいかくれまして からけからり いろのはとかん あった大的妄奏人 **逃花經八万至三万亦未有二万歲為立** 為休見獨指五利使為休命出指使連落持 法犯就云劫灣查别体但約四門立此 假名頻鸠門指四处使 おかりんむつずりかりんかう おりろうともりてつけるむし からるがのかあれかりけかりるとつしりはられている あろうのからてつってつのかとかと かかっとう をせんしおきのうちゅう 生物和 佛菩薩したろとゆとかりと福師去 ずからけかさらと 五門,初泻見、煩鳴、衆生、命々 もしりはして八十八後八ありうゆ 你と佛菩薩け変化したして人 ま橋ろとの経体をとうとう - 12 mm 色心為体記去准 けれずとい

たなんでもつうりのまた人かきからるとう きいるうししむけらんと
大数少方いま橋 ろんりまするかりと 三便いつかった井るゆる風るゆるべきいつかれあか そのこともありけて のありとけるれなるうてけのねこものすれずくなく の時期宗元舎中竹下用三住 女選云三便乾荒 随刻明 すらありなりとしいいうちんいつ 車になってくるとうりなるかのかあるとうとうとうかけるかってくるとういうけるかっているとうれからいまるとうとうとうないましょうとうとうとうなっていまるとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう あしるしゃりとろうから とろろんので れるしいりけらぬるろういい小煮る ま稿けるううてくら 代からり 5 20 からかかり (ろくしん) 人

おくてもと うらとかったろうり ゆううううううからかりま橋を観場へのす されて一切ととのほというとくろうん いくからかんすとおりかるう ~ のいろうける 事れりあるかがく きるちろうてるらうけるとかり なからけららとかつうてものに大きるかであるる 未続がすないううかかいいかのう 烟费九 松成的学者"给你便了多多的 なりいしい人のまって大数けってかか 2のをしくはりをとからるかり 大数ろかるけんようのもりちちとかしろう しけるくとろうとは色う しるというううううううかんできるのろうかったって 者信意代的方分 うれり又を動力多代級人 ありれかはあれるのある 大数人かあることをう ありといのまる人 一本いからあ から けからぬれぬ りるのほと 八~ 在步橋 てりける

女中でうちろんとなりりろれ からとかくちゅうこのかりまとか いしうがーうまかりしま橋の必ずこうあつりれず名せれて りんかっはもののすべくろうからうかったかったっちのうちっているかったかっているのうかっているののう 大的なな~~ な原氏方はするちわとるり あるるるとのからあるかっているかり ろうあるるにからろうてきいめるかり からを多れて又はあるのうとのからる しろとるようか するかあれてせつれるのできなれてかなり むうかゆりからであるのかりちは他あしいろくいくけて くるもでかっていれていとうとうとく 多しかしましているできてまていい いいつけるうましとりのくみり りかんにはくなるあらう ま橋ろあかるけっかう 源す さゆ わりいろうち あまつきのおう できるかれる あ橋をお めらある (なまとい おちつ ているす

ちいんをすべいとかあれた後ろうなるからするれているできているとうとうという をくしなりとまたちつく かうくりんとうのきま橋ろうてろ をしてう かいののちかいるかりろんとう からろかりてするかんる一人も一人も一人も一人の一人をあるからいので きからうかん、スカとからい初くないようかかかいるからい はすくりくてかんしのうれからしてるとうねからあすらり 中式がでくるかりまるやりかりかりしと女夫、大松でよいかのろ れるしいかまけるときいろうちゃっち てからてろうのかいかのとしてうかい ゆのかきなおりろうといろうしなって とうのなべとはあよりわらうんしきととうかんのから 4 色ん像氏を らりなりつから 文化りみつって うえかえ

おいろうとしてりるると又ないしていって けんうりしてんま橋はるのとし かりしましているのちかりせめれてくらいらに りかられかりるり していてのつくうでからる の方衣日本で、ろうできり ずなりしよりの後りかった うねろうけまいた成成いれたとうのぞうからうなったったったったった おしてき、政府流九八よりりくるとれたあずりりりと後とる 一かからまりくうとううるがちまなー又れてよりら ま橋けるうううもかんかっときあっからほれてうりつ けっちりとかかを方事とろうを代男し 一大人的之了 松九八ありとうりとうりとしまると 和すれてるですとりほよつうりくるかかち 私未福を发行したり一歩くとろうう うとおりろんかもり 川馬を有る つをせめてけり後一人へ おおしてはして 台を初

たちのうんでもとうのうかうかられかんかんろうれるれ りけゆいごんもの板のめとあけっちるみなりハスとてあってん これると ろいかにあするうと からるよ うちょうゆとてのりかれて、多つきなに対をは うけのののの も末橋やんめのしつしたりからからりょうのかの おもいようでもてりりから するてるになるいろかのあるひとかかきる かくるからし、行後りかけまし 大方子一格校长"行及我的说"等一天多的人多为为多人 けり後をあ偏ろかのくとこうしてるのよりこれとかろういけ ろりはすとろう めでいってんえうとのみものなるはな低れをかるる人はる ゆんととかろううつう してあつじれまのうる していましても 1800 C すい乳飲を接

きからってもありゆうなんかりなけれたりけてちるん いまうしていすけるいかけるけるときくろうしていかるかから 一多的心或男孩子了了一级警了了了的师歌。 くてたいてもつましてうれつかつち 一切乃思いりを 教奉福生とより人とそうのるにかる 中医遊子解放八百八百天中之时物之去名为神客七号的七日 有之なとなるととうしてきぬるれしるり 有多春四十余八子乃中八京ま八子旅行八後上的一个敢不上官 か中へいくなろうあるとて たひけんれん形れんもすちのくやてゆりまれる るいけれるな地部代を一瞬酸のからのではるるは 考りためるとしてきっけるいるかられる 作力を向けると見事代的語 まってううのとおりてあってるかけれれて ある旅人就送人方とい他席してる也依以之の神ととる人 で思うし 和 りりれれれるとは かてうる 城

年代中でとろう

をしくけんというくはとりてういとうし おりろうりにかりれて 人ろううかりい せているかのできていたとうないてまってるとから かとかりいろ いけっくらうちりぬし、小方人いてりかとま偏のろいき らろうゆくうしれるしるうしるともおれず ろんなかしを自己しかかさぬからし ころにあれるゆうちうりつからかり りのとうないあったつけてとののはしろけっとうとときます。 論語云季民族於泰山臣族者祭若也之即今八百百遍孔为何 もれからうりれちしのあいよろりおかりれく 道祖神和名唐韵云褐八青楊之漠語妆云为无外乃賀炭 花间祖席離入醉 水上帰忆落日行 元積 そろうりしぬ からいかけんしのかりにつるるれ (佐) 漢語教 未摘ろんく するうれるりれるの 零旗印 のゆうつりける あっろろん

がくのういかっているかかっているからからかられたっているかかかっているかかっているかかっているかかからかかかり かりているとこのなけるはなるをなるようと かんとういるはちつりはかろう あいゆめとめつしていまと 或物学る同 等は去めですとういけらりならいをあくうけるは割さ は未続の多るとかしてられるあるいなんとうりてきれるしてと 一つりの人で派氏大家之二月日内石では水の一个年月 ひいつけるの何としるのいとといろうとし ちのうりかかろううつへくとることのうとう他に標いいい そその人を ま稿とぼの声谈~ 和战人是你我们的第一的人一个 私ありり川年であるとはちさんとか りついろうあかかいるかんかときはをぬうへ らをそのす かくらいは回る いかつ いかりもつもった るってないるこれ 私对我人 り深感す

又なぼをうとうん彼寿よむちろわり 然行子力なるるとののか別のぬなべちりとの別はんでうる 吸表のあず自なしとうろりあればあれるとんろうがある 1つかんちゅうにとってもちればのする ろういかりとなるのかののいとの回かるか るのうう ういるいた 出る

てやううけらやかりなり ろうかりいるし うしつくまつかん あらる里、あいのようのあるれいろかかの あらくれあるうろうであれているとうちのいよっちて 10よつまて をは気かられる方とうたりって そうけかありき てもあるのとう をはかりあくれとかくちょう あのうくて神では、歩くて いってかれるというるまなべれのいろうろう 車とおえるらいのうりあてからんしゃ しゆのもかいたり しいけて

表の見なうろなりのあするにようきものが代きつうてき ちいかりはますりか いてありとうて からやありひしん これまかれてむからしく うるののようとうらいくら うくいあるら もうねのるりころれ うにもいっちんからのおったるといわらい ろうろろく 掃除すりてりたろう ほのきちろんしいとかしてからしなるといろとほの見れて りゆきからかりんてしつうとして 成了一道は方代をされるけるのかのあれるとろう くれれてのるかろうめて くとうつかり 為你成乃向了一年事畫般論語 らららか 作えの必養し そのようま稿のなる ゆのたかりやく車ととうしる 父まめつうして 係の作文了信 多代形和 末橋へ 港两 でなった

ちとしちかりわくゆくむもいか後うち みけりして他多とと奏では返るとうよ ゆうとんからんたろん ちのあるとうちにあて うらいをうかとられるなるとういう うきりんかり う状をかくたかんむんなる おそろしくさく 事けらり あるろちりして 多で 如新樂府古塚机云大尾,曳作長起裳、云 麦 らかりりすべるのものやいかしてあったのまうか かそうしからう れらってかる しきつらかし 煮るかあるしんなんかれるとれる よいとうろうわしかり 発き摘むけるのでするですりかりぬりそい感のろう 他をろううううるのか 作えっちころ は事に他えろえつるれ せるするとのう んけかねととかく うちりつ かろうゆ

ういしぬかありさら う一ろかりなり、ありけずに多か あつしかんかりらりくりて面白るり作えれるうゆとゆう うりろうま摘ろんれかってる経はから かしたまろれるとろうってうかのはまずったにそ りいとの人かるのかりいを大きる かしゃいろうらはる らんしなからしと言とつかとさって らし、とは飲をゆいうんとてもあくだっ うとせるの変化しるののし かしてるやうちかんとのあるなる格をとける うやしろうろ其内を尾とおみに被するなしく 尾をおろ素ななちりとおるようけるとう しったちんうけるかりしばかりき - していくなんからか かいせんむろうなりりりてきるとか 末橋にからりしてるほし そんりむのかりりてする 係の惟多て 老 よろう の利かかまさる くつつくろ り作え初 机の変化 罗

ほろくとあってとのめるとうものだりもためる えすりに見を与せるような のくるかちりむ~ をあかし後てつくおがなのら きんさっていりくちょうつうるくさめ へりとう あゆられからけるうと 原の歌のかか いうりうちろんは原の性は勝し ~人かりんて ありらゆきま橋といかか をきとまろけるちてさないしちしてからうらてき け付をううすしていてなりつうしまくしょうかいからうんちょ かかてるかとしてとなりなくほのできる ろうろうかしいま橋にかりせまりたとほのた ろろあずおと あるれとときつしていいとうくあっちゃのかるのか あしんやしょうしいほのを多く とはるうろいちり 139 CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE

事ちとうりりつるかとるにろうくなり

もらううちろうちつかり 表のかかられているのかとかろう るのといめくるためてする れるでもかってとり欠くいまるける 一一像の仁思るる心路勝之以事格るり したこからいとたべ りか うらら

かなかりるい。心を大ちのろうだち にうめとす せた

れる年してうらつうろうちっき

からにろうちょうれひりて いれがずた そうにうとしる一個的後者よび海上的路民海美子 たろうらく はしておりのはゆうかくあまたのあるとうた較 種ってるな

的衛主界論梁孝元皇帝博極郡書少辨冠世 行忽忌譚庭草鱼炎令較云之江陵既陷王 僧辨等三声九子 不好色色萬信五

可勘 春秋秋馬人及馬勒日本紀月九或統八代記云梁武帝馬之教之りて孩子是為致帝大平二年禅位于陳村江陰王 しのうまするとを

弘安源氏論議云十五番

~ 人人人人人人多我力之也经是无为人 えからかっかりからからなってもしち 在问去

友着云 具顯朝代

代例来に強めるなるけむりてしるす 気からとうのようんとろんとうんかるかりのであるか 後あいてかいかかかけるかりてるのかっ 八个 あるからかいかったい 事的原文意 あるべんいろ 八郎~~~

みっちいかのちくこの下るちゃるとしありて おされりなとおのきてれめるって 好多者相遠行りえるけるかりいるあり、人を一人などの機関をある て新族三八多物名一八人子又重都 らならうひろうしょうせるがあるからからあるすめる らとうろけずいきいるないのかけりあ る方面 とうとの 为 りるや 及可以あお

吸きすりとりで 原の見せてていまりますと思いて かゆいおはされーゆうい大きかるけます るちましてアスパラルで ないとうかからから なかられるうるがないであれているかりというかりかり いるとうしょうついるのからいるとううつくっているとう いりゅうちつかくして うはみもののうかできてくれぬしぬからあれるいんで 一ろうをてもとめくうりいそうりゆの気で かるいうからやきしてきりつしてきなりつつにせんううてきれ 私名い惟えけりしめるかれてありるるるるるるかれかける きるとうとちまりからうと めらてしいおりはつからうみっちりつしいかとう りぬかとりなして 一書稿代代人 1

我的所说なかしなすっちょいおようちの意味 今来れるりるからうからうなななる なるしぬよるられちろうに あるをきるれのであ がなるようわららうしなりつ むころれのうりれなるうせるとる彼のであるりれならのん かりまれれるころし きておきつうていろううとろう ろういうはせれてるるで しとううちりれむしるしいろうれる ねるうちか

かってけせてりかりしゅうれらん ううりのぬかるしいは すけろうかなる ろいお ~~~~ りのまっれかられてはないのあっているかので けばかとう?~~とかりかてるかかちろう くろしある的しまたべかのうれるとうう うゆあるろうとか めろくるはとしろう ゆろしろかのうり ゆまろ はしれずらけ るると初分人 ねなり

さ~ありなりんとあろうあり 多代あ そんのきぬからかりいくうんかのあるほのうか をいきして いのうかかりのうちをもうりのから かううりかりねしおのなろう かいしてもろうちは 半川らのはまの生いたーにをろしてよう らりう人とうとうできるろれまのする くろいかりものかり 私川舟代あるおのまるとめるとって川村 るくとなかかりのこ してあかられぬかり 私からりいをあるうゆしろうはといる あるむかりるりしるともいはのう人のした ら多いようとう かかりうのしちと いかろう るとからの にならうか とおめると 八馬 のもって

があるとけらららってアランクいちくを宿けるる かりつりになる。ようにおにかとおうか 等上がはれるしぬるしり代初りりいるる おえる。こうのかけれずうしかろうろ 中意児悉成人園林悉喬本 さんてんなほとれならうしとるより上ろうかとア うり又と帰の秋代はなろうしときう やんするしてきんけるとはるれか悟宣しきる どの名をあるるるなりてるれたう ありるというされりうしありる をきついまのううかしるというと をはりてて名けるうしつとろれてかれ かっている一致神花るあるろうていま構にほれるから るり、お格はるまれずからうしるとありますかり けずりかののかかってのらせるるるやう を主婦切れを行う人内のすべいいかりかりちかけ からないなって? 人かゆくろろ 川のはちんち かろれているとる るりるれ りろうちろ

かれろうりんなやろう あっけんりんるろいうりせんとは らうるかれろろう

あるようありきょうろうろうかんりいるからにためん てりにつりぬ からういかからると 大利の多けなれる声 月分りにかりて うろうしるのか あるのなりるいちからしまるいろうのやけってあるる 又うういるかれれの変しれるういるかってぬくされ 大つうしてあるとれろかりいることねり はゆでいるとはいうろうかしんなるとるる ろれいうらりとかくろくうなったり 松生はるとううりちろれるう川南あいい 七を見てりろううかちをおとむけるうにきぬり 一つかん させというってきーター 私はずりりしけるだ 武師说すこったのかってるよう 中洞後なしのりつ りいるる んまとゆの A C んをあ

事まろうきとうさはるアろめれるあうりいみらやいからめる きますろうけかに多のあるからうろうかとうれ はキャーニの変をちましい動物ないあると真子りかしろうな 水平一姿をうかく奥人かしいいっとも 怪こからうしい若身女はろううくしゃしておきいから とてあるこからをしいうるういうしけるうで 一切がく一様こからあってきるると れる一ろうちあるれかられずらして し面白くなるなら ~八文水活 れ経む回しる 机场

事の、私物ようようと 真ののよくれる、いが物のののころ 辛意ろううるかしないかかかっしいいのかいてしるろう 中的人的接了了了了一个一个大小了一个大大 てあるとした人人一回動かるようるかでするいほとか そのとうののある場けりゆとうからてあてもうち 私来を一下優しかつと奥へ一部報るという人か 松をるいてありるかとある くと他のける

ちょうして我又堂しろいありる人人多教教るよう人 是恭信為此事色詩史記以下共以為室孔堂下去了如何或 佛菩薩之住死也北室美矣若今物語堂字 空壞婦人超而能之男子內戶而不納婦人自歸与之 之疑之 又云汪文選有形見云来勘 云堂者佛阁人家通犯佛阁堂人家堂之色各别也格,一向 粉以吾之不可学柳下惠可孔子曰欲学柳下惠未有似於 初吾又初不可以納子婦人曰子何不加 子何為不納我年男子曰吾闻也男女不六十不同居今子 鲁人有男子独处室者隣之够婦之独處室夜暴風雨 盡樂產而縱之自以為避嫌不審矣差其審者宜如會人 毛詩同首者顏叔子在處室隣之数又在处於室夜暴風面 人かとみぬりとかしてのうとうかろろう儀代とを 门之中國人不林其乱委男子曰柳下惠固可吾固不 至而室標婦人 こからてものいろ 超而至類叔子云 130 りあり :納之而使執始於平且 イカト 柳下惠然題 ラ書誤欢魚角 れるしとき 不遠 吉日 可吾 至而

ゆううごけい とうないてかしまするろう くっているうりとゆかくろう ゆろうつこうれりゆる 発見をとれるのからしてる うるううそろうし かくもんれつかしもしてまたけるはのあかいかく あれる場合とからて対合ううとうよけるる の個人なれつりいろとははれかられてもかれるれかという すりぬるかれいお摘けるのはとしっといろう かにをないとうりしぬあるのやうかん 幸ありるがずれてこかりとの破るると うそうべるかりこくろうにいめてあるたいのときでは彼らら りんのな食家人女子尖神れてけるいりとうねずるできる 我说去了了代中, 他去乃的孩子去也多了你出知我必然比如人 うゆうてくしめりになっと しくされとゆうゆうれーをといるしくるとと 男者のか お格代る代のきくうさゆとみ が地門 後 原の重然よう れ食乃如次のうちる わしばかありなと 平同 いるのではまる うるろん

いくうれとらからの これますいまちんろく かりにそのるもしろうううかれてきていてとしてかんある 即今いるのかん ぞうにひろう かけけれずいましると いてるののやるいまでからます ととれるの もうちるなってかけるりするけるとうかると うりぬくしは めてうるいのが代き物からあこうなれいしょうでしるがなる けるというであったろうりのとあるろうとう つくいゆのいからりろりなってのうるりふろようはおろう あしぬくないうられいわめりしろうとうしてたれせの名的なんとと てうれ的強ううりおめるしるう 私やて二条代あの地でするろう 小部と ゆのもりのるまであると いのまるといういのでなくこうかうよっと いろういるすのか しいまっつりゃ

数はかんからんのりつうろう おあれるよういろいろのかりな みかひいくう一帯度まろもだり あるめしくるからうりる くのないなりとすりて 文パタとやり代象よるくるなりのパインのりしると きゆいちり むりからろめるれてしてのかと んくなしり がまたけれるううのあるないのの人人人又以外る もうないしかといするは人名してアルゴを かしろいろしてはずとりつく るかにてうろうかくまろけてきまっているって てあくるのちまりれたとろのありほう 色いゆのかれるのおからあったかからあるあり らあるたかしちりちりはあるでのから もりまたけんなうつうなどから らっつつうるかあ ほの外指するうはといって 界がえるり けんといするとんないとなる 今それやほとろのの かかさく 杨 内かりとものつ

そうめへうしゃ るしくせてうりける気は 今もうしてかいろうと けんをうきしろうの ちろれるめれかりょう んろかろかり 我老了的的恐然代感了了像代事一次人我 的色少俊八和了人大家有思し は多はまるなで返後しりりょくともしなのあす るかかりるにしてきりかけ かけるという 主人有和私们有和人公方的人 原の下家司たけれる パワかしあって むりくすりは必をちりますとあり するからし とのの数でありいいるのれてして これと二位」書る一人のか 事年けらうりんからす 来たいかしやうしかり いあめのよううり 事 禁事的 解は刻まて一あ年 しるが知し が下級利 考 いゆりぬや 乃後代名 0 5 かとれる

